

令和4年度 入札・契約、総合評価の実施方針(案)

〔工事〕

【参考資料】

令和5年2月28日



国土交通省 関東地方整備局

目次

1. 令和4年度の入札・契約の実施状況・・・・・・・・・・・・ 2
2. 令和4年度の総合評価の実施状況・・・・・・・・・・・・ 7
3. 賃上げ加点措置の実施状況(本省会議資料)・・・・・・・・ 16

- 令和4年度は、約74%の工事を一般競争で実施。
- 施工体制の確保を図るため、不調・不落が見込まれる案件を対象にした公募型指名競争入札方式、フレームワークモデル工事の活用により、指名競争は約22%となっている。

(契約金額:百万円)

	R 1			R 2			R 3			R 4 (R5.1月末時点)		
	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額
一般競争	1,087	80.1%	257,623	1,028	78.9%	303,033	876	68.3%	300,527	534	73.4%	196,098
指名競争	66	4.9%	14,064	197	15.1%	36,497	336	26.2%	51,151	161	22.1%	20,928
随意契約	204	15.0%	21,433	78	6.0%	122,696	71	5.5%	16,073	33	4.5%	13,164
合計	1,357	100%	293,120	1,303	100%	462,226	1,283	100%	367,751	728	100%	230,191

※250万円未満の工事を除く

※指名競争は、災害復旧工事、公募型指名競争入札及びフレームワークモデル工事にのみ適用。

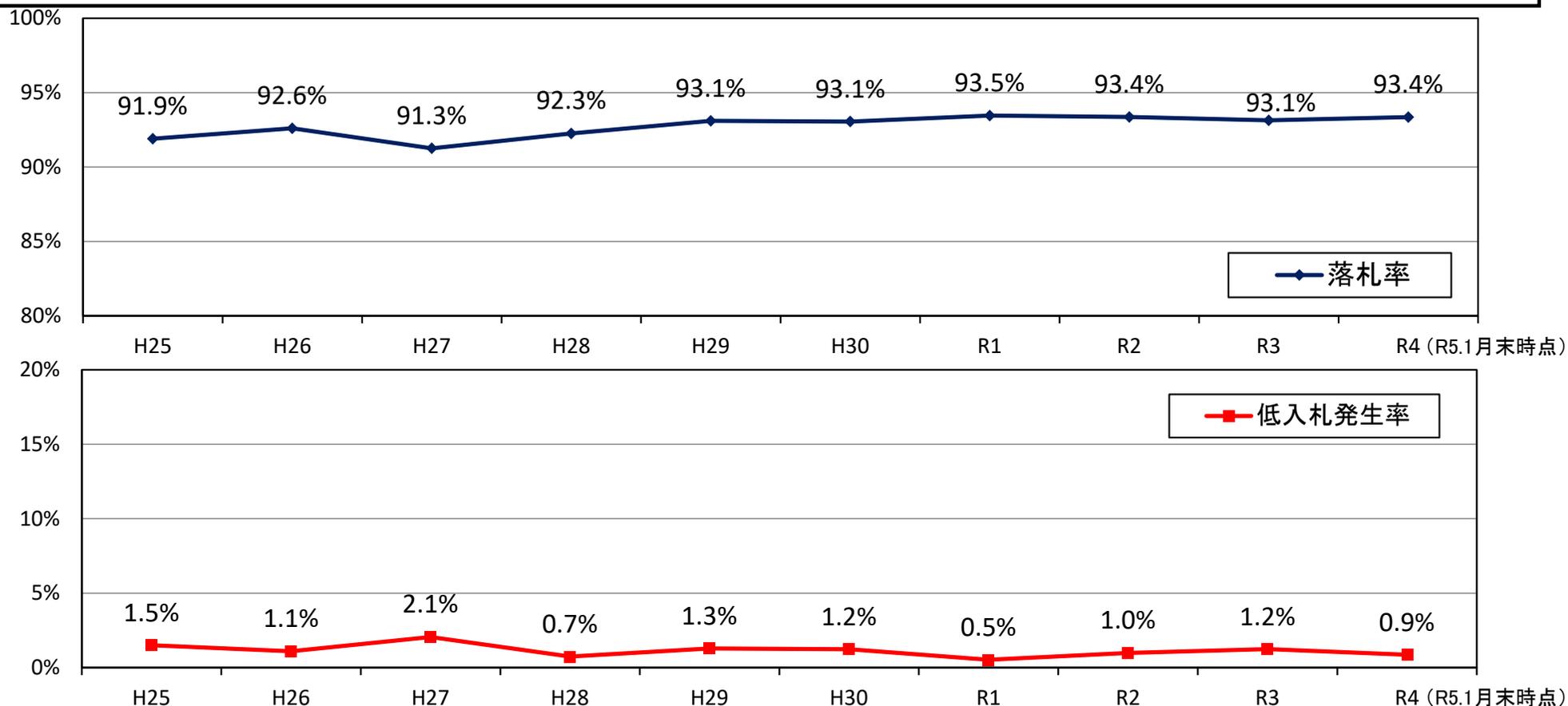
上表のうち、災害復旧工事への適用は令和元年度に40件、R2年度に15件あり、R3年度及びR4年度は適用していない。

※随意契約には、特命随契のほか、不調随契を含む。

1. ②落札率・低入札発生状況

(R5. 1月末現在)

○落札率は、近年90%台で推移しており、令和4年度は**93.4%**。
 ○低入札発生率は、近年1.0%程度で推移しており、令和4年度は**0.9%**。

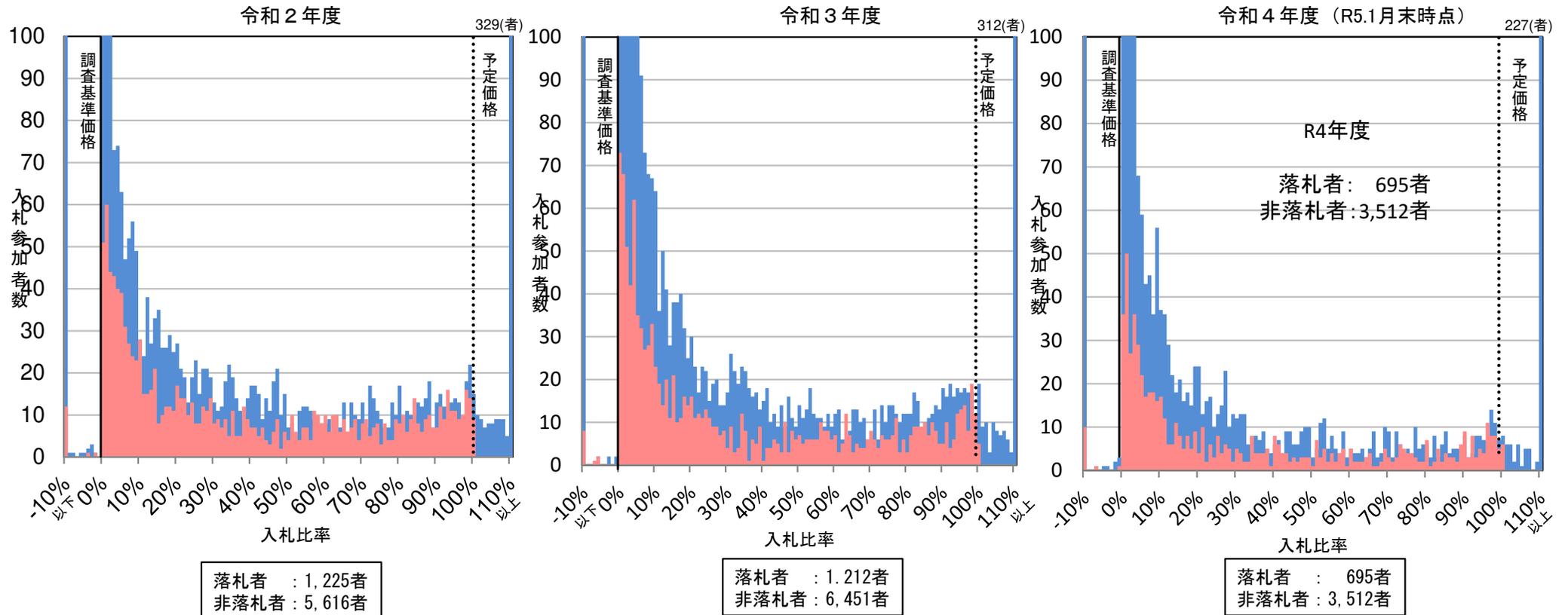


参考：調査基準価格の算定方法見直し

	H25	→	H28	→	H29	→	R1	→	R4
①直接工事費	95%	→	95%	→	97%	→	97%	→	97%
②共通仮設費	90%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
③現場管理費	80%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
④一般管理費	55%	→	55%	→	55%	→	55%	→	68%
【範囲】	7.0/10~9.0/10				7.5/10~9.2/10				

※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く
 ※250万円未満の工事を除く

○ 入札比率の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向は変わらない。



【入札比率の算出方法】

$$\text{入札比率} = \frac{\text{入札額} - \text{調査基準価格}}{\text{予定価格} - \text{調査基準価格}}$$

【凡例】

- 落札者
- 非落札者
- ⋯ 予定価格
- 調査基準価格

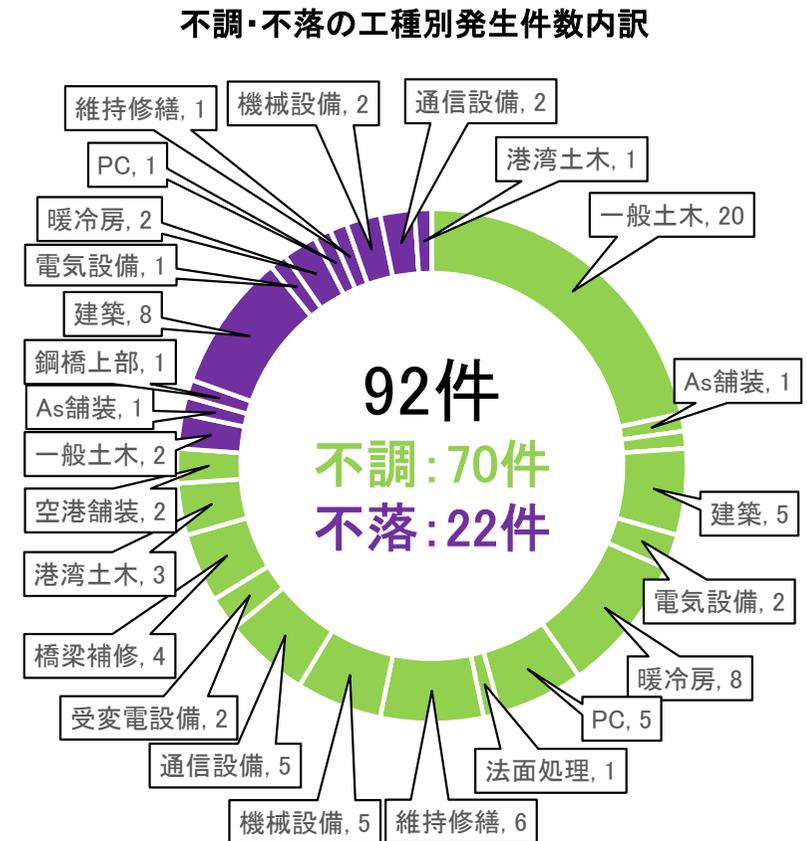
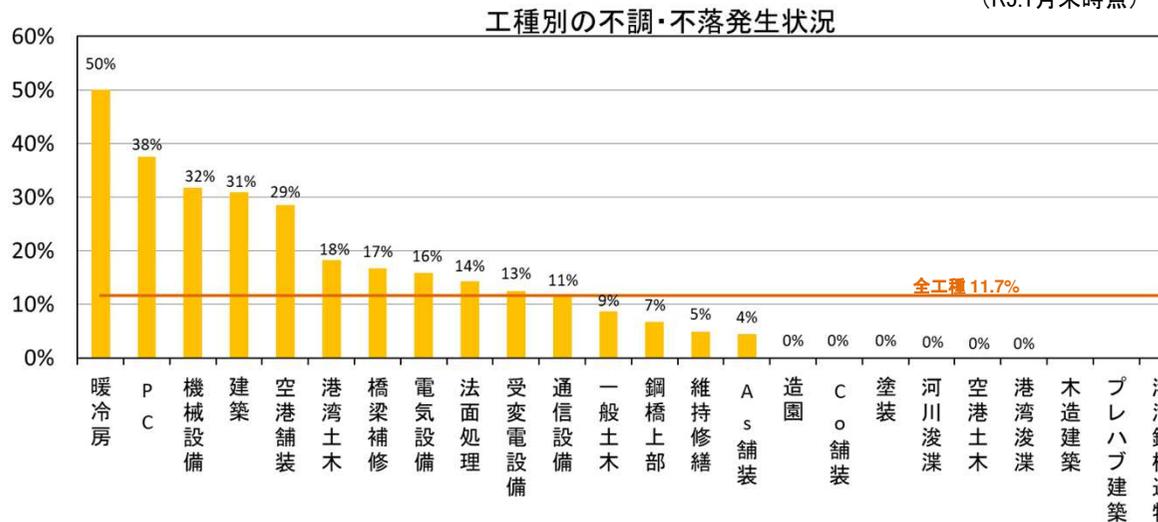
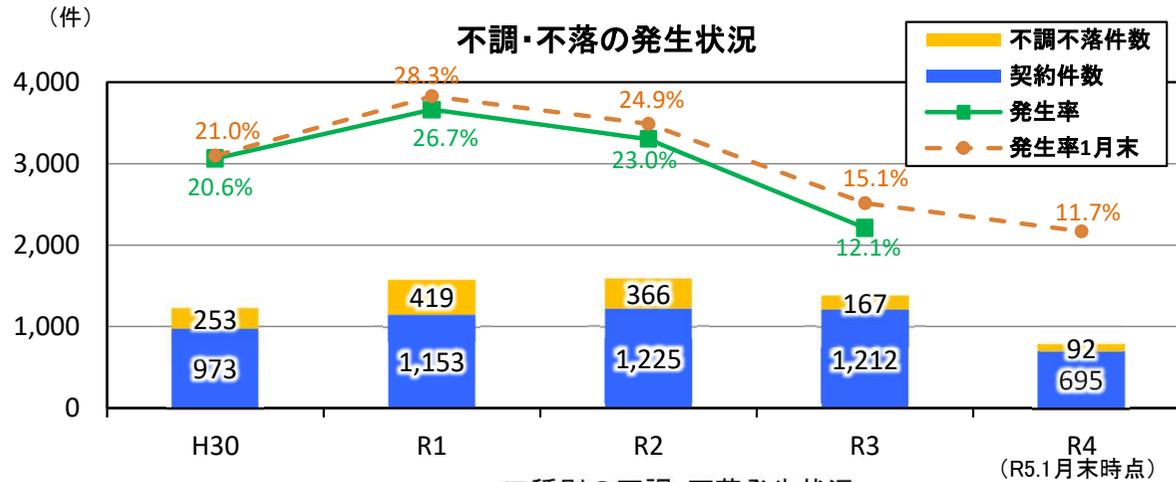
※一般競争、指名競争を対象
 ※250万円未満の工事を除く
 ※随意契約を除く

1. ④不調・不落発生状況

(R5. 1月末現在)

○令和4年度の不調・不落発生率は、11.7%であり、2、3年前と比べて改善が図られている。

○工種別では、暖冷房衛生設備工事、プレストレストコンクリート工事、機械設備工事、建築工事で30%を超えており特に高く、更なる取組の推進が必要。



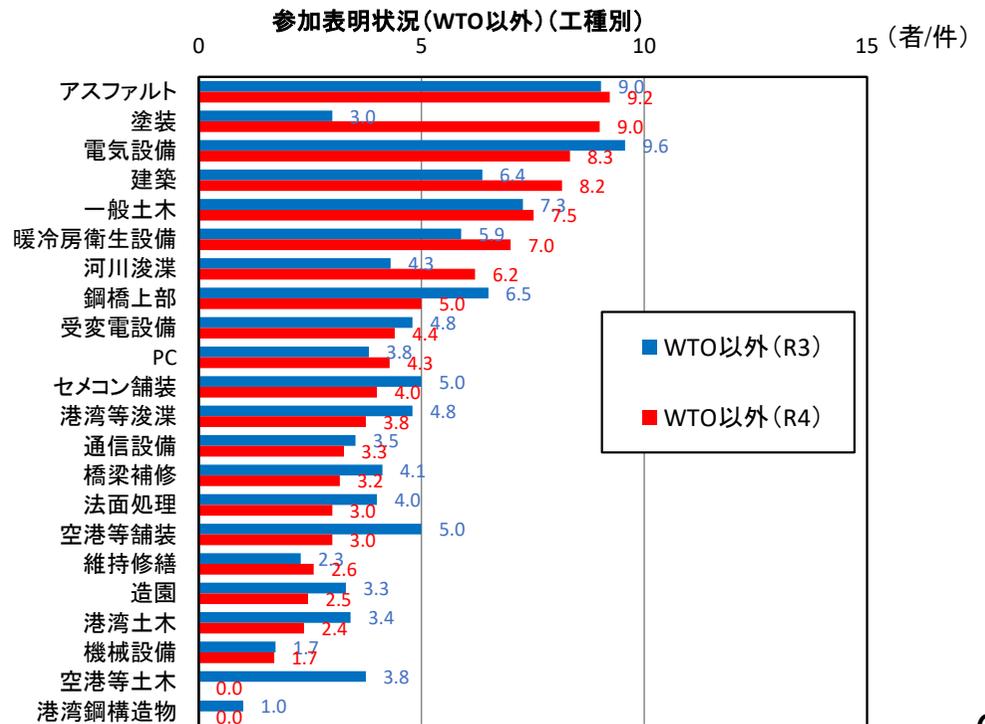
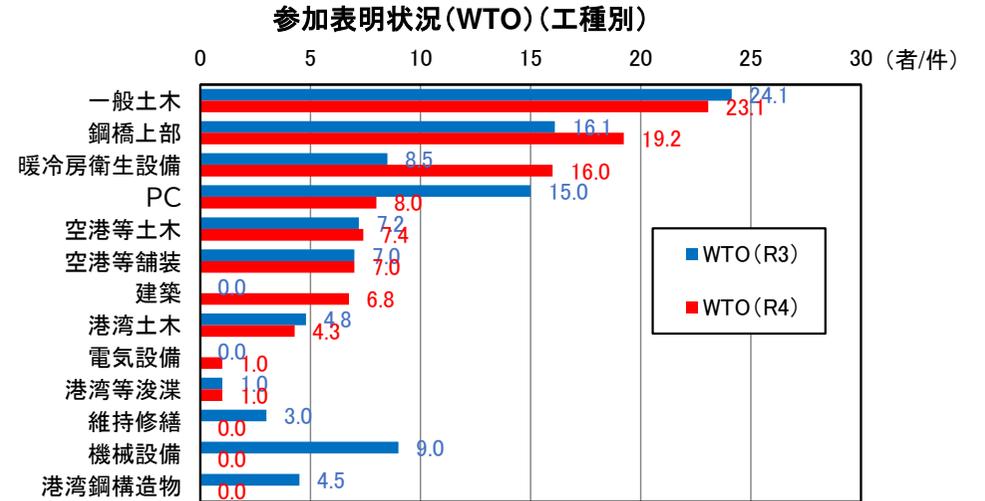
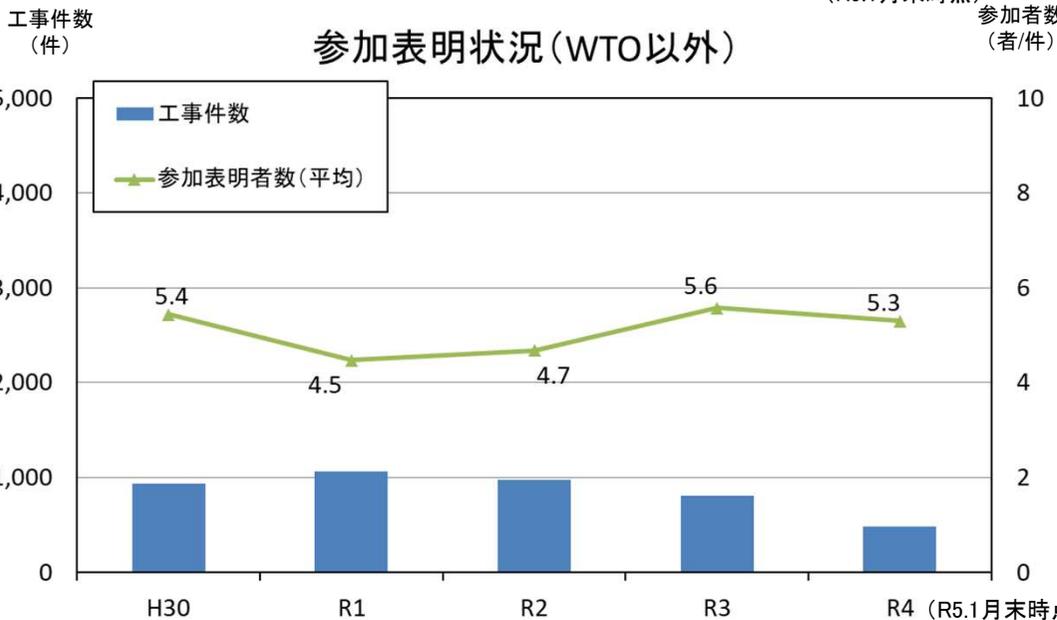
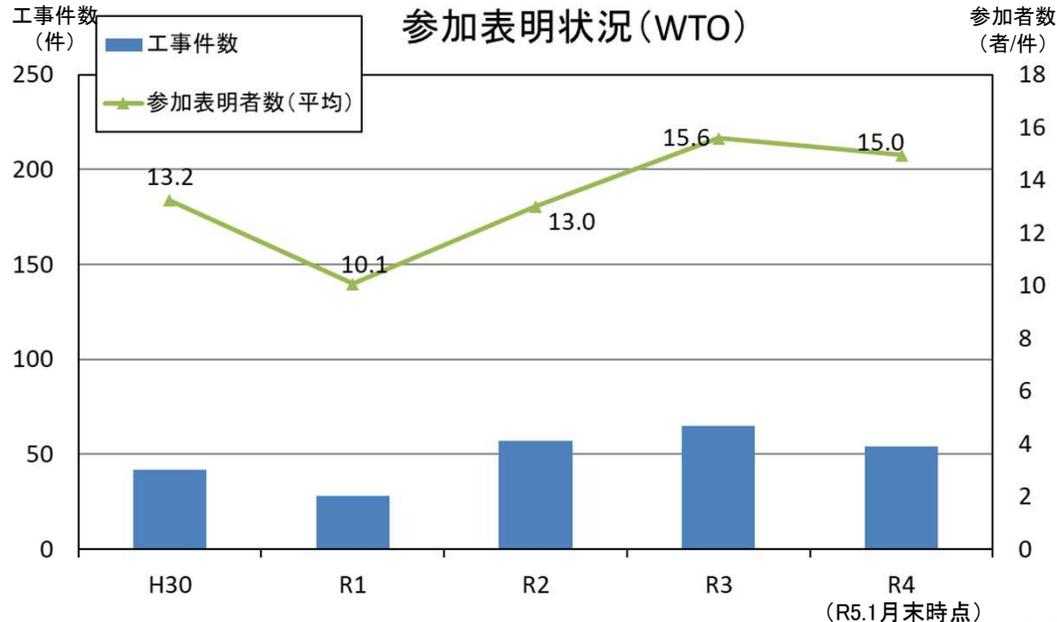
※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く
※250万円未満の工事を除く

	暖冷房	PC	機械設備	建築	空港舗装	港湾土木	橋梁補修	電気設備	法面処理	受変電設備	通信設備	一般土木	鋼橋上部	維持修繕	As舗装	造園	Co舗装	塗装	河川浚渫	空港土木	港湾浚渫	木造建築	プレハブ建築	港湾鋼構造物
発注件数	20	16	22	42	7	22	24	19	7	16	62	255	30	142	45	38	2	3	5	5	5	0	0	0
不調不落件数	10	6	7	13	2	4	4	3	1	2	7	22	2	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1. ⑤参加表明者の状況

(R5. 1月末現在)

○令和4年度契約工事の平均参加表明者は、WTO対象工事で15.0者、WTO対象工事以外で5.3者であり、競争性が確保されている。



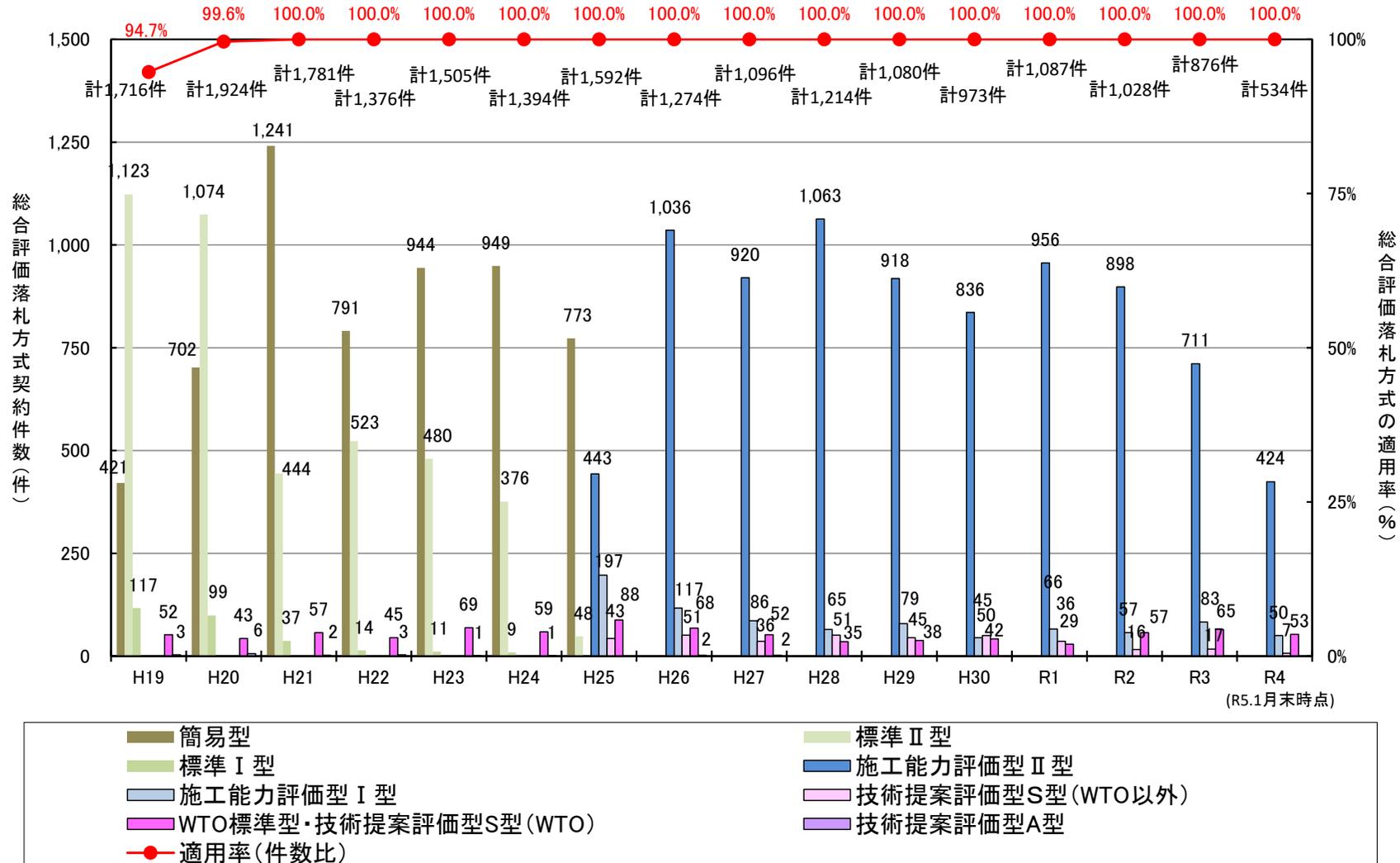
※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

2. ①総合評価落札方式の実施状況

(R5. 1月末現在)

- 一般競争入札では、平成21年度から全て総合評価落札方式で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型の適用が多い。

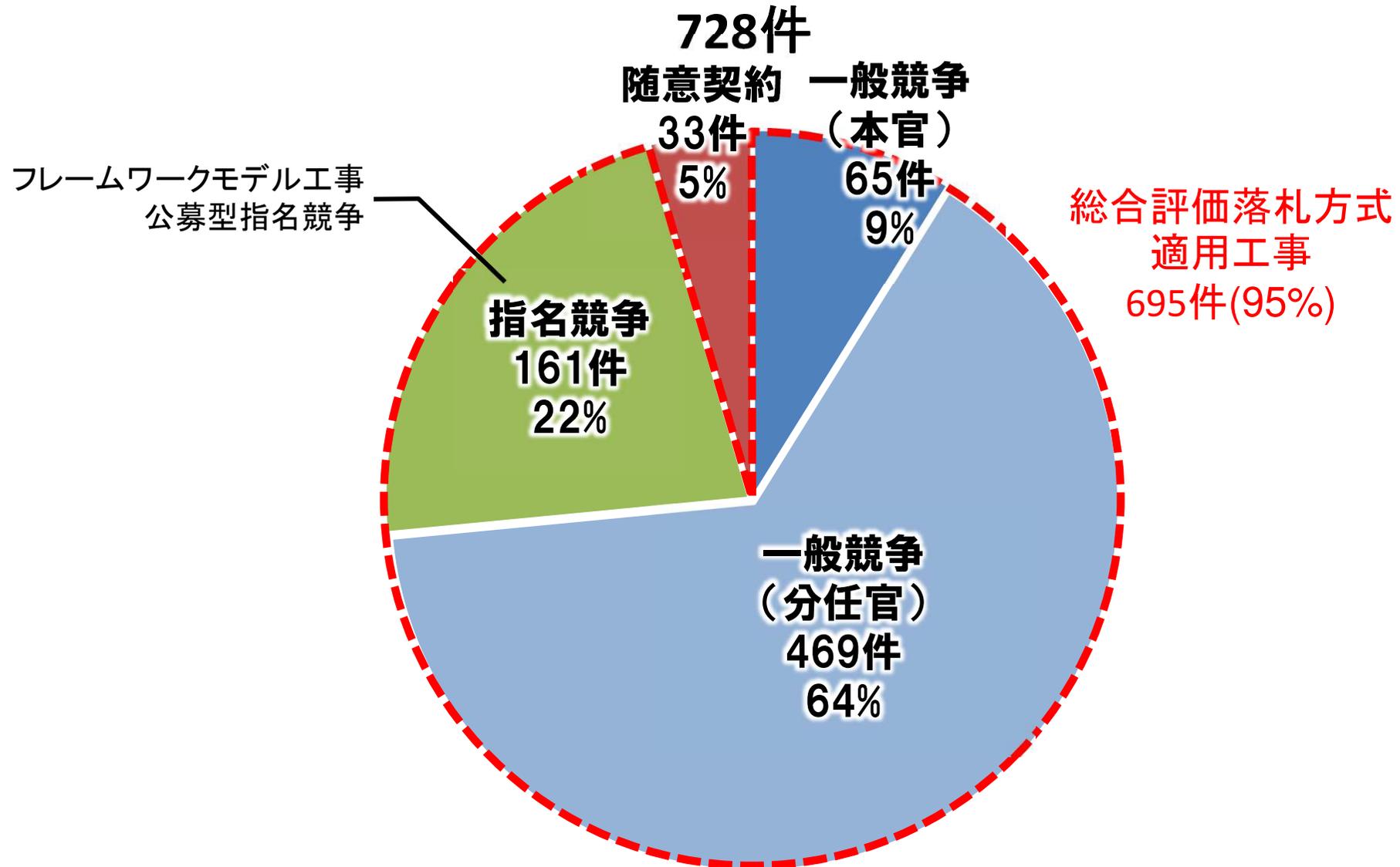
■総合評価落札方式の契約件数と適用率(件数比)の経年変化



※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

○令和4年度の全契約工事のうち、随意契約を除く全ての工事で総合評価落札方式を適用。

令和4年度工事契約件数（R5.1月末時点）



※令和5年1月末時点
※250万円未満の工事を除く

2. ③総合評価落札方式の実施状況

(R5. 1月末現在)

○施工能力評価型が約89%、技術提案評価型を約11%の割合で実施。

○施工能力評価型Ⅱ型が全体の約79%を占めている。

工事種別	施工能力評価型Ⅱ型	施工能力評価型Ⅰ型	技術提案評価型S型(WTO以外)	技術提案評価型S型(WTO対象)	合計
一般土木工事	155	23		15	193件
アスファルト舗装工事	31				31件
鋼橋上部工事	2	8		17	27件
造園工事	33				33件
建築工事	11	2		4	17件
電気設備工事	5	1		1	7件
暖冷房衛生設備工事	2	2		1	5件
セメント・コンクリート舗装工事	2				2件
プレストレスト・コンクリート工事	1	6		2	9件
法面処理工事	3				3件
塗装工事	3				3件
維持修繕工事	116				116件
河川しゅんせつ工事	4		1		5件
機械設備工事	13				13件
通信設備工事	27				27件
受変電設備工事	5				5件
橋梁補修工事	5				5件
港湾土木工事	4	5	3	6	18件
空港等土木工事				5	5件
港湾等しゅんせつ工事	1	3		1	5件
空港等舗装工事	1		3	1	5件
港湾鋼構造物工事					
合計(件数)	424	50	7	53	534件
割合	79.4%	9.4%	1.3%	10.0%	100%
	88.8%		11.2%		

(R5.1月末時点)

※一般競争を対象
※250万円未満の工事を除く

2. ④落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

(R5. 1月末現在)

委員会後、資料を適正化

○全発注件数のうち約31%を最低価格者以外が落札。

→令和3年度と比較しやや減少。

○技術提案評価型S型WTO対象以外は約43%、WTO対象は約70%を最低価格者以外が落札。

→令和3年度と比較しWTO対象以外は減少、WTO対象は増加。

最低価格者以外の落札状況

	R2年度			R3年度			R4年度(R5. 1月末時点)		
	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合
施工能力評価Ⅱ型	898件	229件	25.5%	711件	238件	33.5%	585件	154件	26.3%
施工能力評価Ⅰ型	57件	16件	28.1%	83件	24件	28.9%	50件	19件	38.0%
技術提案評価S型 (WTO以外)	16件	5件	31.3%	17件	8件	47.1%	7件	3件	42.9%
技術提案評価型S型 (WTO対象)	57件	32件	56.1%	65件	38件	58.5%	53件	37件	69.8%
技術提案評価型A型	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,028件	282件	27.4%	876件	308件	35.2%	695件	213件	30.6%

※最低価格者以外の落札:落札者のうち、最低価格でなくても落札できた工事

※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

2. ⑤落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

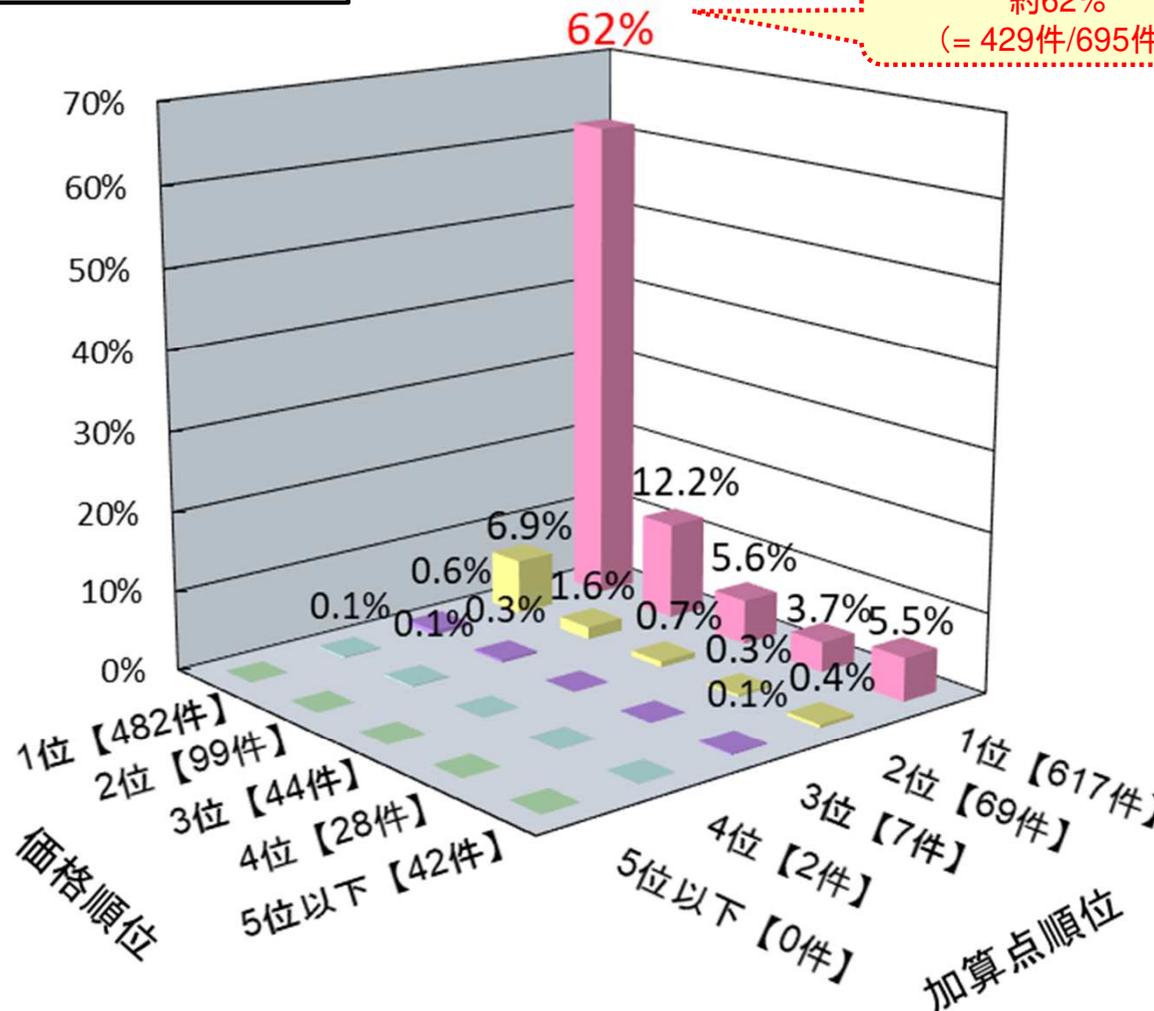
(R5. 1月末現在)

- 加算点順位1位かつ価格順位1位の者による落札が全体の約62%(695件中429件)。
- 加算点1位の企業が落札者となる割合(約89%、617件)は、価格順位が1位の企業が落札者となる割合(約69%、482件)を上回っている。

【R4年度】(総合評価適用工事) [695件] (R5.1月末時点)

平均入札参加者数:3.7者

加算点1位・価格1位
約62%
(= 429件/695件)



価格順位1位
約69%
(= 482件/695件)

加算点1位
約89%
(= 617件/695件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象
 ※ 250万円未満の工事を除く
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

2. ⑥落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

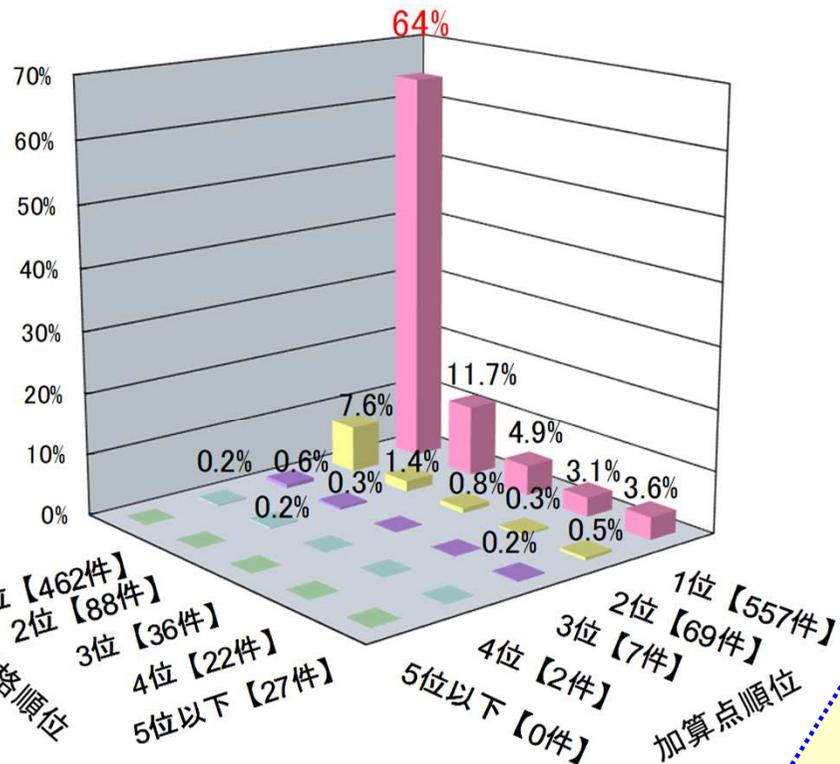
(R5. 1月末現在)

【R4年度】(施工能力評価型) [635件]

(R5.1月末時点)

平均入札参加者数:3.0者

加算点1位・価格1位
約64%
(= 409件/635件)



価格順位1位
約73%
(= 462件/ 635件)

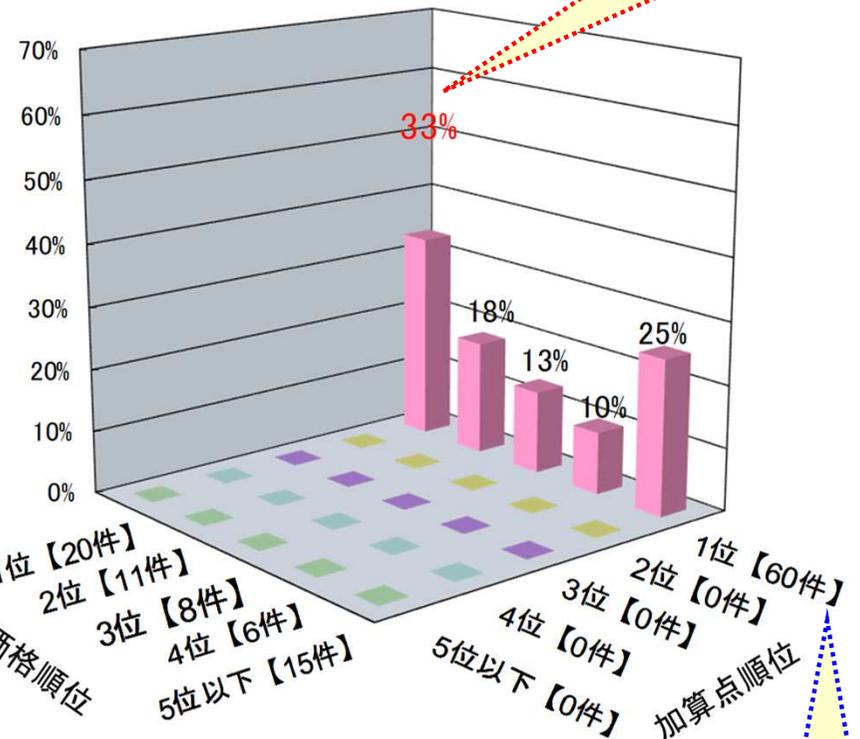
加算点1位
約88%
(= 57件/635件)

【R4年度】(技術提案評価型) [60件]

(R5.1月末時点)

平均入札参加者数:8.6者

加算点1位・価格1位
約33%
(= 20件/60件)



価格順位1位
約33%
(= 20件/60件)

加算点1位
約100%
(= 60件/60件)

※一般競争を対象
※250万円未満の工事を除く
※加算点と価格順位の比較のため予定価超過は含んでいない

2. ⑦競争参加者の加点状況の分析

(R5. 1月末現在)

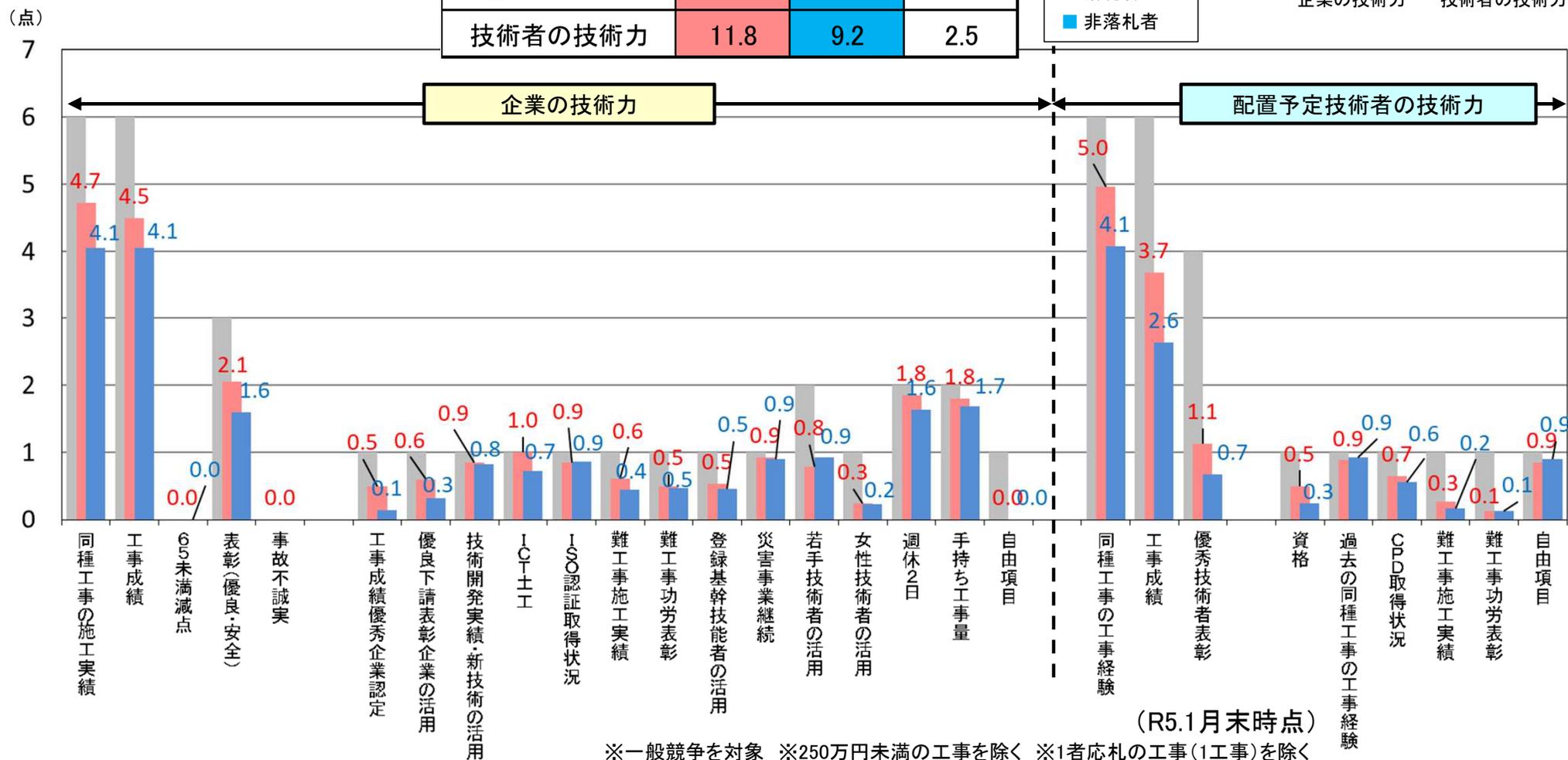
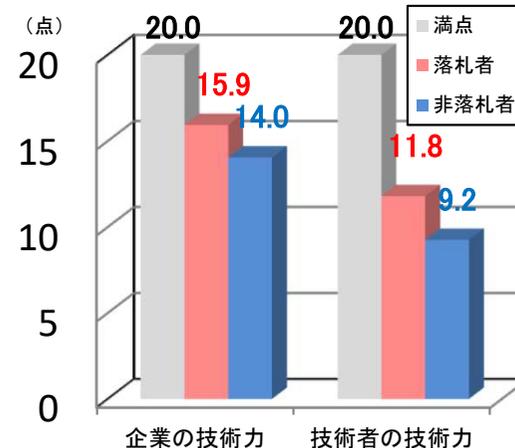
【施工能力評価型(標準タイプ) 一般土木工事】

落札者(83者)と非落札者(333者)の違い

○企業の技術力では、「同種工事の施工実績」により差が顕著。

○配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」、「工事成績」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	27.7	23.3	4.4
企業の技術力	15.9	14.0	1.9
技術者の技術力	11.8	9.2	2.5



(R5.1月末時点)

※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く ※1者応札の工事(1工事)を除く

2. ⑧競争参加者の加点状況の分析

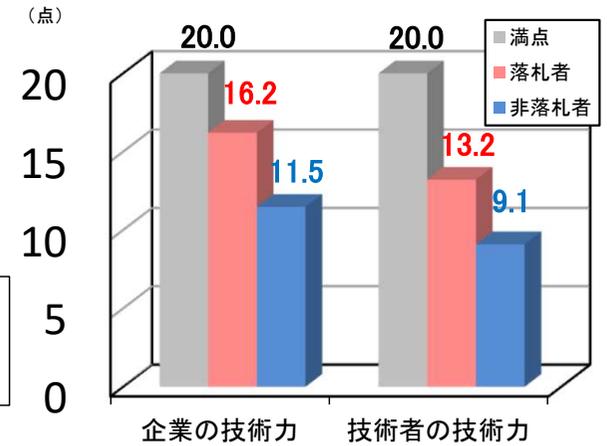
(R5. 1月末現在)

【施工能力評価型(地域密着工事型) 一般土木工事】

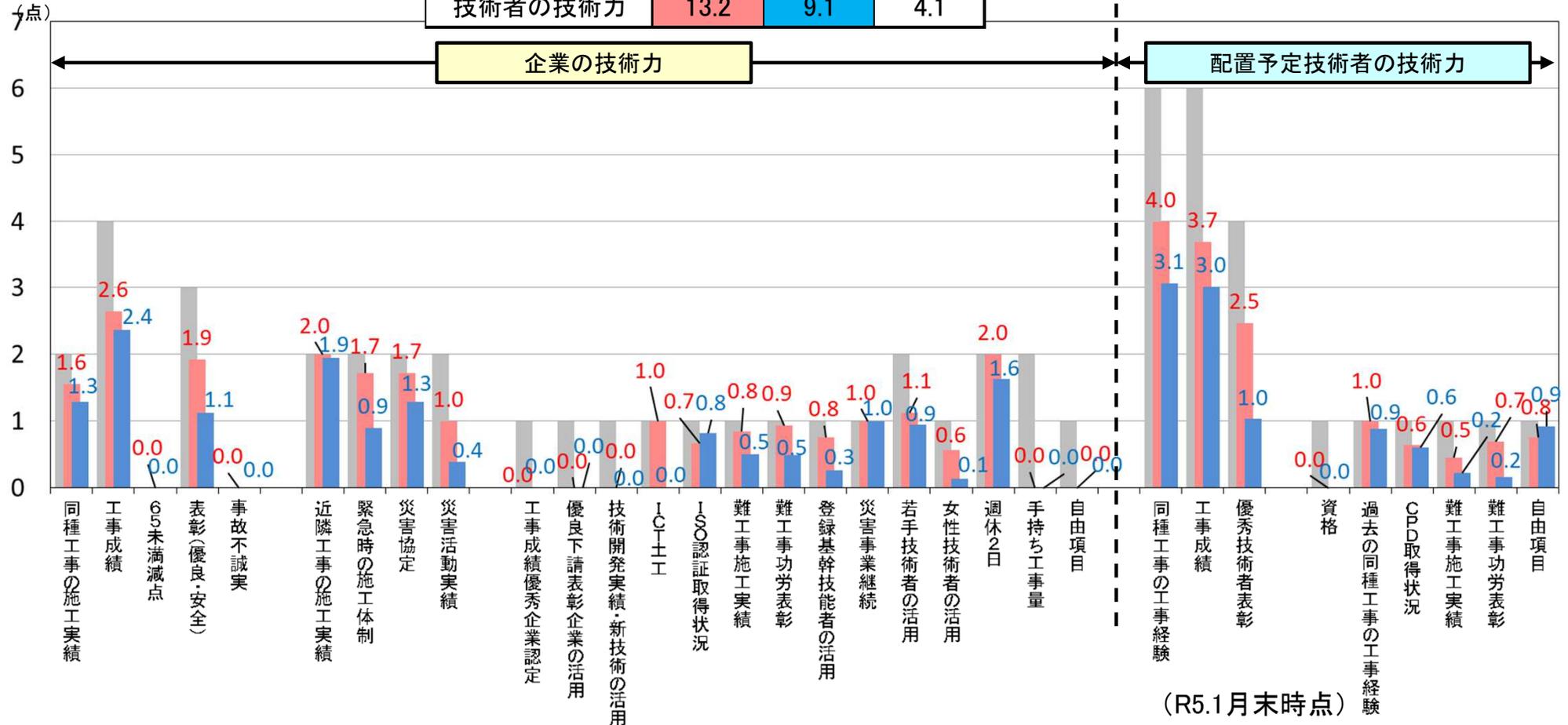
落札者(14者)と非落札者(74者)の違い

○企業の技術力は、「表彰」、「緊急時の施工体制」、「災害活動実績」により差が顕著。

○配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」、「工事成績」、「優秀技術者表彰」により差が顕著。



	落札者	非落札者	点差
合計	29.5	20.6	8.9
企業の技術力	16.2	11.5	4.7
技術者の技術力	13.2	9.1	4.1



(R5.1月末時点)

※一般競争を対象

※250万円未満の工事を除く

※1者応札の工事(1工事)を除く

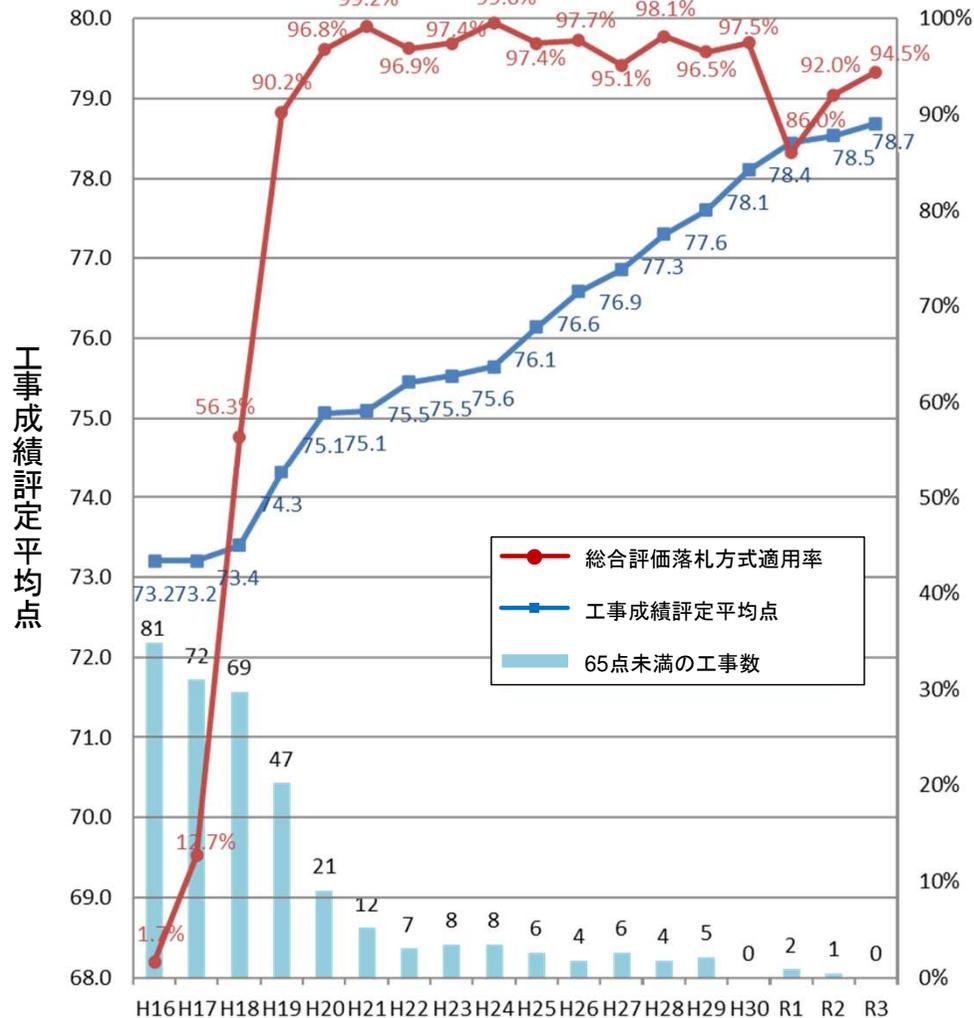
2. ⑨工事成績評定の推移

(R5. 1月末現在)

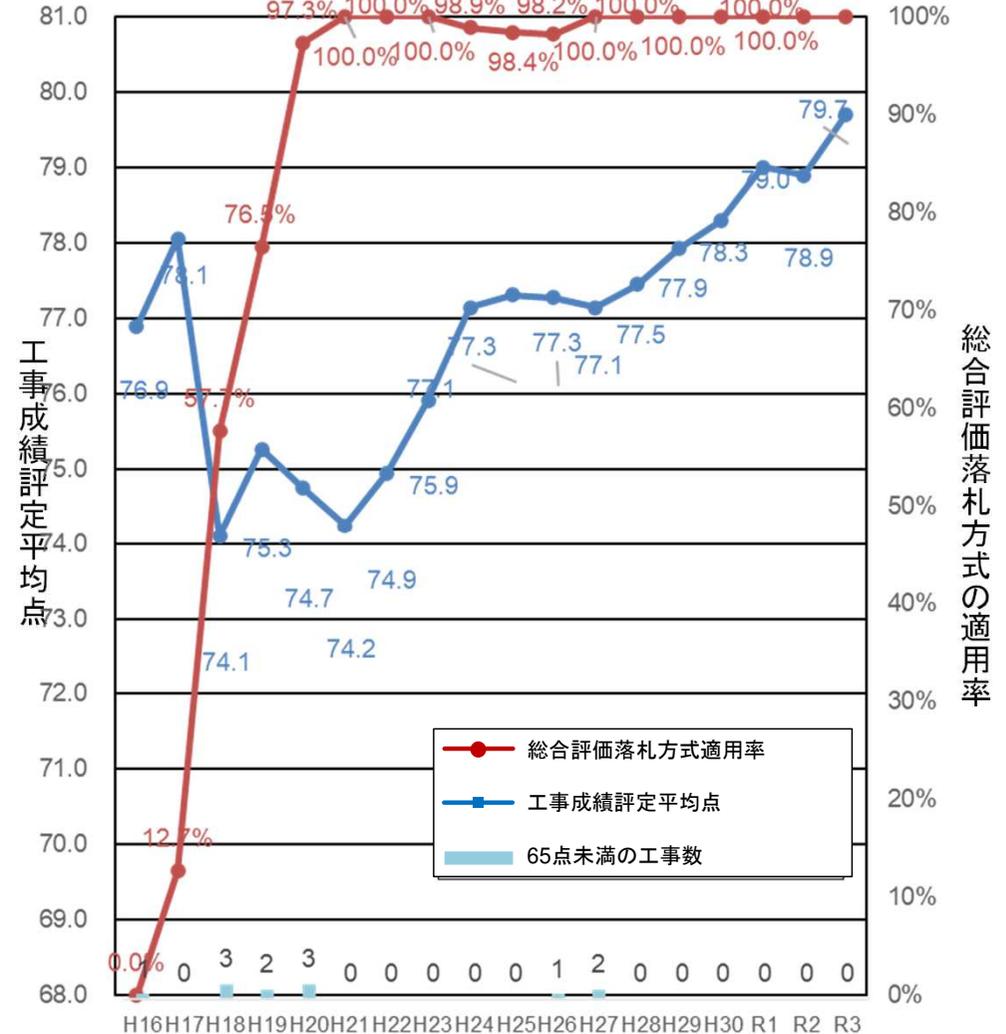
○ 工事成績評定の平均点は年々上昇傾向にある。また、65点未満の工事数は近年0~2件程度。

総合評価落札方式適用率と工事成績評定の経年変化(契約年度別集計)

【河川、道路、営繕、公園関係】



【港湾空港関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象
 ※港湾空港関係を除く ※250万円未満の工事を除く

※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象
 ※工事種別は港湾5工種を対象

- 令和4年4月以降の契約案件を対象に「総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加点措置」を開始。11月末までで3,714件の工事※が対象。
- 全工種合計で、実競争参加者のうち約6割(64%)、実績確認の対象となる落札者のうち約7割(73%)が賃上げを表明。

	件数・者数
対象工事件数	3,714件
のべ競争参加者数	20,674者
実競争参加者数	3,793者
うち、賃上げ表明者数	2,433者 (約64%)
実落札者数	2,079者
うち、賃上げ表明者数	1,515者 (約73%)

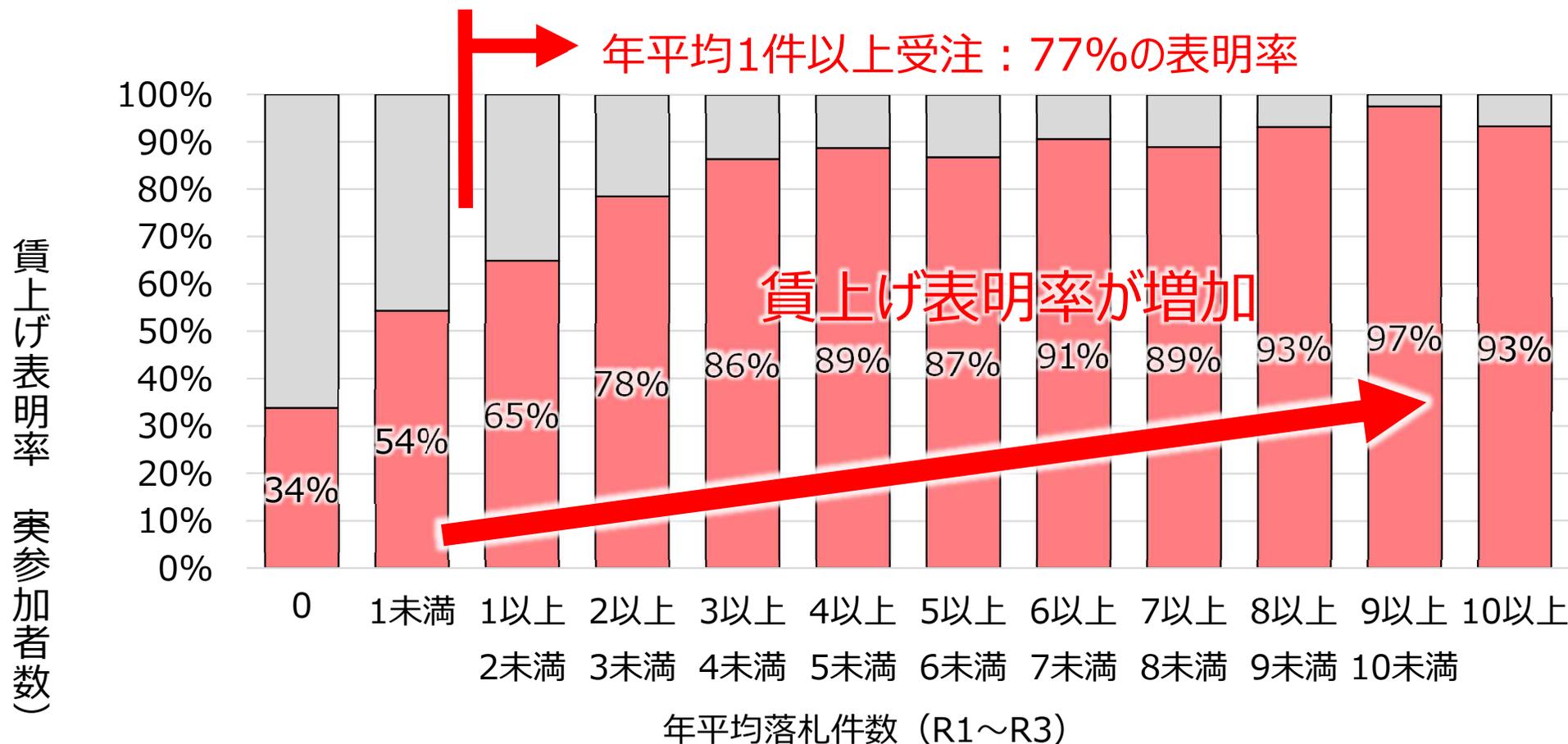
※北海道開発局、8 地方整備局、沖縄総合事務局（農業・港湾空港関係を除く）を対象に集計。

※令和4年4月1日以降の契約案件であっても、入札手続きの開始時期が早く本制度対象外の工事あり。

- 過去3年間で国交省直轄工事を安定的に受注している企業ほど、賃上げ表明率が高い傾向。
- 全工事平均で64%の賃上げ表明率に対し、近年、平均年1件(過去3年間で3件)以上の工事を受注している企業は、77%が賃上げを表明。

【参考】(事業者への聞き取りの一例)

- ・県工事を中心に受注していることから、賃上げ表明を行わなかった。



- 全工種平均 約64%の賃上げ表明率に対し、
 - ・表明率の高い工種：一般土木(78%)、アスファルト舗装(85%)、鋼橋上部(96%)、橋梁補修(83%)
 - ・表明率の低い工種：造園(37%)、電気設備(42%)、通信設備(41%) 等
- 公共需要の占める割合が高いと想定される工種は総じて表明率が高いが、維持修繕のみ平均程度(64%)の表明率に留まる。
- 比較的民間需要の割合が高いと想定される工種は、表明率が低い傾向。

